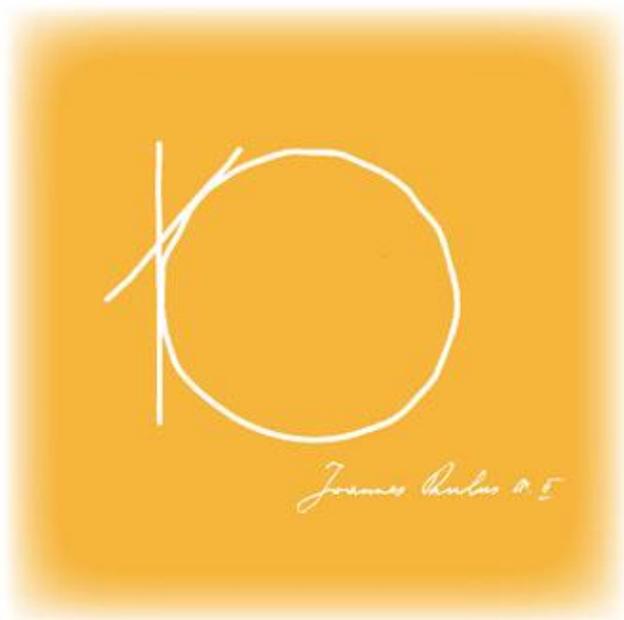


障害者差別と合理的配慮について



長崎大会配布用資料
2023.10.14現在

日本カトリック障害者連絡協議会
2023.10.14

障害のある人にとって社会的障壁とは

障害のある人が感じる生活のしづらさは
その人の身体や心の機能に障害があるから
という問題のみが理由ではない

社会には、障害のない人を基準に作られている事物が多くある
その為に、障害のない人にとっては障壁と感じないものが
障害のある人にとっては生活のしづらさを感じる障壁となる

社会が作り出す様々な障壁を社会的障壁という
教会内にも教會的障壁がたくさんある

皆さんが安心して教会に来れる為にも
社会的障壁の再点検が必要となる

障害者差別解消法

障害者差別解消法は、心身の障害を理由とする差別を解消し、障害の有無に関わらず、お互いに認め合って共に生きる社会をつくることを目指して2016年4月1日に施行された。

障害者差別解消法では、障害を理由とする差別を『不当な差別的取扱い』と『合理的配慮を提供しない』ということに区別しており、不当な差別的取扱い禁止と合理的配慮の提供を必要としている。

障害そのものをよく知らないことが差別を生む要因でもある。本来は法律云々より理解することが先である。

障害者手帳を持つ人だけが本法律の対象ではない

不当な差別的取扱いとは、

障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として、サービスの提供を拒否することや、サービスの提供にあたって場所や時間帯などの制限をすること、障害のない人にはつけない条件をつけるなど

具体例

- 障害を理由に、入店拒否、窓口での対応を拒んだり順序を後回しにしたりする
- 障害を理由に、資料やパンフレットなどの提供、説明会などへの出席を拒む
- 筆談や手話対応が出来ないを理由に話し合いもせず参加を断る
- 障害を理由に、必要がないにもかかわらず介助者の同行を求めるなどの条件を付れたり、支障がないにもかかわらず介助者の同行を拒んだりする
- 盲導犬の入店を断る
- 本人を無視して介助者だけに話しかける
- 合理的配慮の提供を受けたことを理由に、試験などにおいて評価対象から除外したり評価に差をつけたりする

合理的配慮とは

合理的配慮は、社会に生きる障害者にとって困りごとを解消するために
行なう配慮として2016年4月に施行された『障害者差別解消法』の中で
明記されている。

特定の場面で、障害者が障害のない人と同じように活動することが出来る
ように、物理的環境や時間・場所の変更、調整、あるいは人的支援など、
機会の平等を確保する為のもの。

合理的配慮の基本姿勢

- ①障害の特性は人によって違うため、必要な配慮も多様、障害当事者との
話し合いをしっかりと行ないニーズを正しく認識する。
- ②対応が出来る範囲を明確にする。障害当事者の要望が物理的、体制的、
費用面など対応の範囲を当面超える時は、障害当事者に理由をしっかりと説明
して理解を得るとともに、実現可能な代替案を柔軟に進める。

障害のモデル論（合理的配慮の考え方の基は障害の社会モデル）

例えば、階段を上がることが困難な車椅子の方が街にでた場合、足を動かすことが困難なことを障害と考えるのか、階段にスロープ等がない社会環境が障害となっていると考えるのかの違いがある。

	個人モデル（医学モデル）	社会モデル
とらえ方の違い	個人の心や身体機能の欠陥が障害と判断	生き辛い社会不備が障害であり社会の側が障害をなくす必要
障害への評価	あってはならないもの 克服すべきもの	多様な個人の属性
障害への対策	個人が治療やリハビリによって社会に適應することが必要	差別禁止、 社会的インクルージョン
障害問題とは	福祉問題	人権問題

障害者を取り巻く法律

国連障害者権利条約は2006年12月に採択された。

障害のない人たちが当たり前に受けている権利を障害のある人たちも同じように保証する国連条約である。

日本は国内の法整備の関係があり2014年に1月に障害者権利条約を批准した。日本は締結国としては世界で141番目として遅い成立だった。

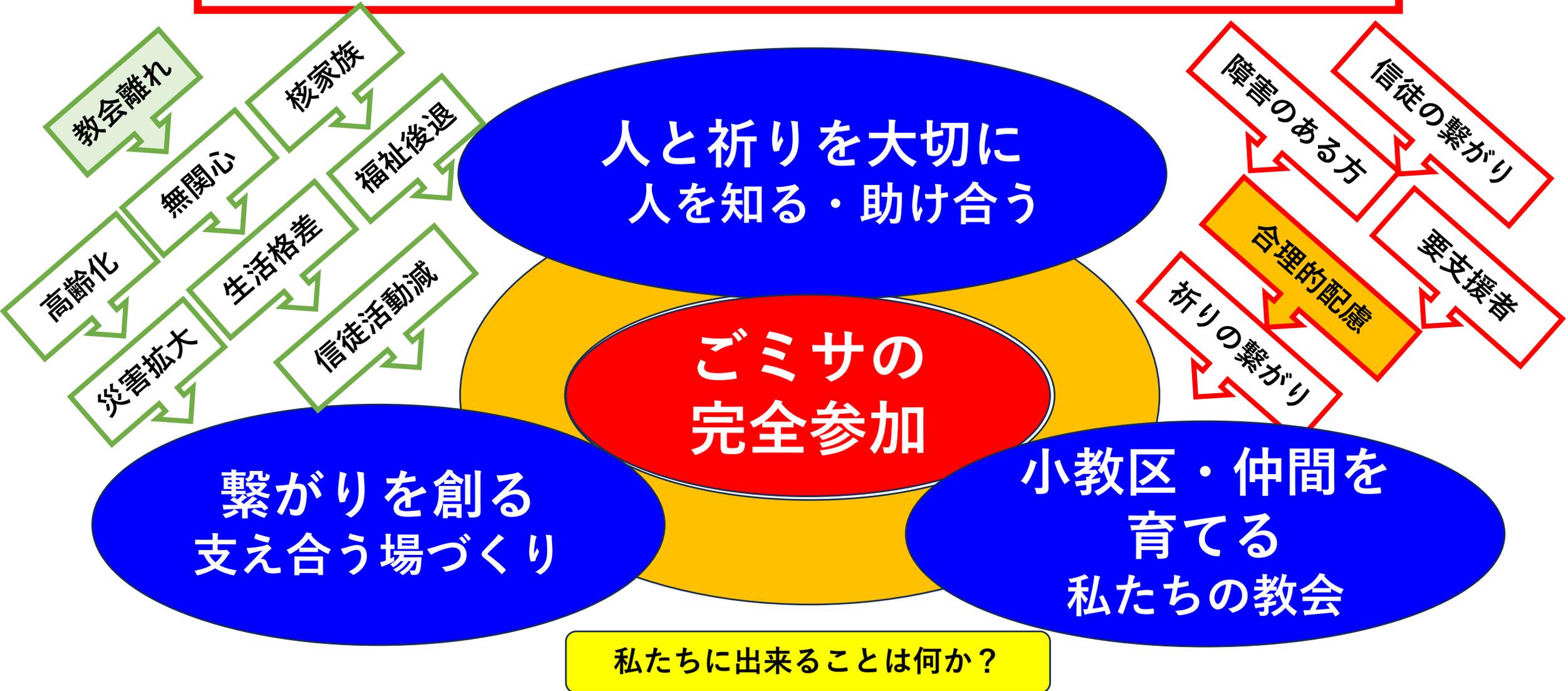
その国内法整備の成果として障害者差別解消法・改正障害者雇用促進法が、2016年4月から全施行となった。

日本が障害者権利条約を批准する前に、国内法整備に時間をかけたことは障害者団体の長期にわたる努力があった。

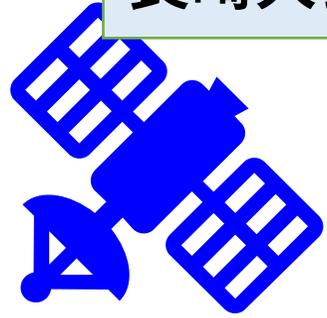
批准を優先した他国は逆に国内法整備が遅れている現状がある。

合理的配慮は2021年5月に障害者差別解消法の改正が成立し、2021年6月から3年以内に民間事業者も合理的配慮が法的義務となった。（2024年4月1日から）

誰ひとり取り残さない インクルーシブ教会



長崎大会分科会で語りあいましょう



私たちは！合理的配慮を通じて
どんな姿勢を取れるのでしょうか



仲間を支え合える人

仲間と集える人

仲間を増やせる人

適切な気づきの出来る人

動くタイミングに動くスイッチを入れられる人

ボランティアをボランティアする人

(技量スキルに関係なく前向きな人)

